

# 保健だより 3月号

令和4年 3月 4日 (金)

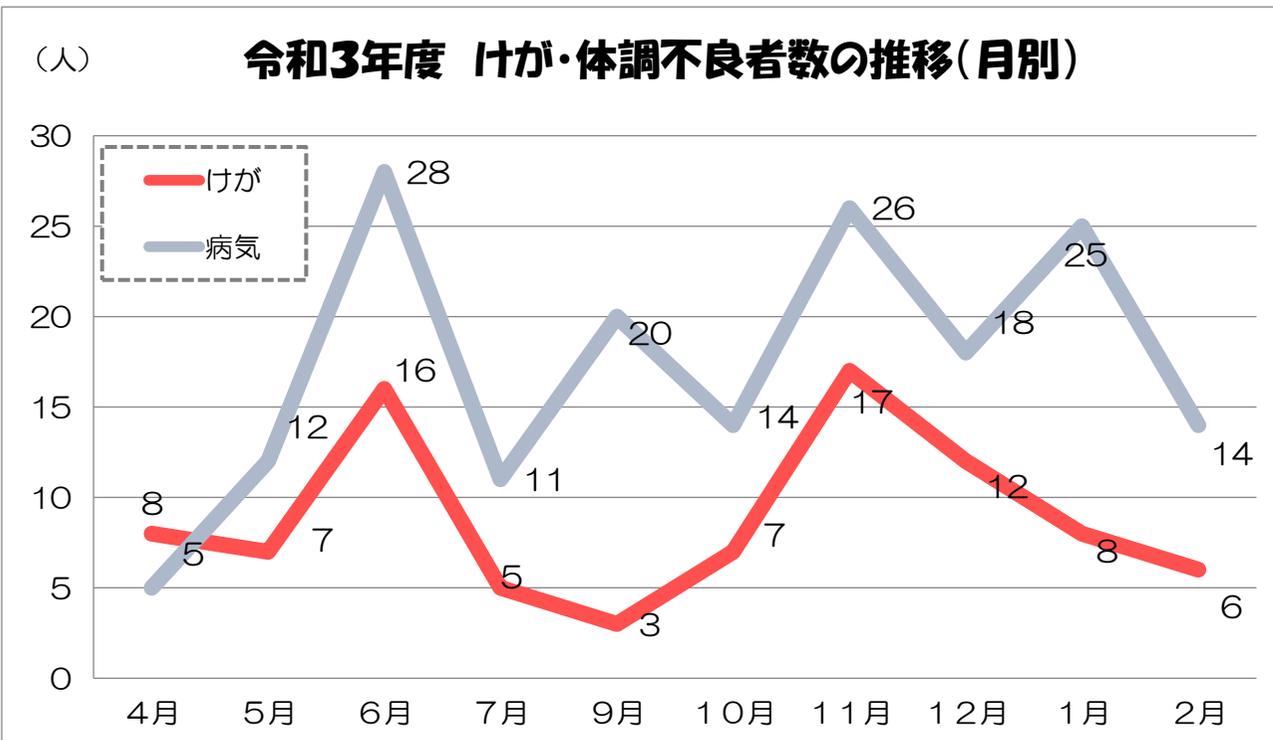
寒さが和らぎ、少しずつ春の訪れを感じるようになってきました。朝と昼の寒暖差が大きい日や花粉がたくさん飛んでいる日もあり、体調管理が大変な時期でもあるので、気を付けて過ごしましょう。

感染症はまだ流行中ですが、皆さんが、「うつらないために」「うつさないために」行っている毎日の感染症対策が、自分自身も、周りの人の健康も守ることにつながっています。今年度、最後まで元気に過ごせるように、引き続き感染対策を行っていきましょう。



## 令和3年度 1年間の保健室利用者数

けが 89人 体調不良 117人



## むし歯の治療、終わっていますか？



今年度の健康診断の結果はすでに皆さんに配付していますが、特に歯科検診でむし歯が見つかり、歯医者に行っていない人は、今年度中に治療を始めましょう。むし歯は、放っておいても良くなることはありません。来年度の健康診断までに治しておくことをお勧めします。

なお、「松伏町子ども医療費助成制度」の適用は中学校卒業までとなります。3年生は3月中にぜひ受診をしてください。

## 3年生 命の講話

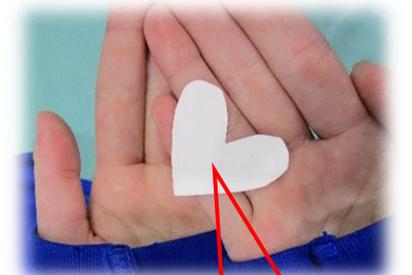


3月3日(木) 3時間目に助産師の染谷しゅう子先生をお迎えし、男女の関わりや、生命の誕生などの内容を踏まえながら

「いのち」についてのお話しをしていただきました。3年生はまもなく義務教育が終了します。今後の自分自身のライフプランを考えるよい機会になったことと思います。今回のお話で感じたこと、考えたことを、これからの生活に活かしてください。

### 感想

- 命にかかわることを学べてよかった。授業で習ったこと以外にも学ぶものが多くて、自分のことは自分で分からないので、自分を大切にできるようにしたいと思った。
- LGBTなどのところで、自分らしく生きるということを学ぶことができた。また、DVDをみて改めて命の大切さや、子どもを産む苦勞を知ることができた。これから大人になっていく中で、このことを忘れずに生きていきたいと思った。
- 1つの命ができるまでには、男女ともに役割があるのだなと思った。受精卵の大きさを実際にみて、自分たちもこんな針の穴のような小さい卵から成長してきたのかと驚いた。



ここに針の穴が開いています

